



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月2日

上場会社名 塩野義製薬株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 4507 URL <http://www.shionogi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手代木 功 (TEL) (06) 6202 - 2161  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 岸田 哲行 配当支払開始予定日 —  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	75,230	17.5	7,969	31.1	7,211	23.6	4,825	4.9
22年3月期第1四半期	64,026	23.8	6,078	△24.8	5,835	△30.3	4,601	△14.6

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	14	41	—	—
22年3月期第1四半期	13	74	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	537,815	331,663	61.6	989	01			
22年3月期	540,761	341,976	63.2	1,019	71			

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 331,224百万円 22年3月期 341,504百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	18	00	—	18	00
23年3月期	—	—	—	—	—	—
23年3月期（予想）	—	20	00	—	20	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	142,800	7.7	19,700	10.4	18,700	14.0	11,000	△5.1	32	85
通期	290,000	4.1	57,000	8.7	55,000	8.9	36,000	△6.8	107	49

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	351,136,165株	22年3月期	351,136,165株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	16,231,932株	22年3月期	16,231,245株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	334,904,414株	22年3月期1Q	334,933,582株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 [添付資料] 3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における国内医薬品市場は、本年4月に薬価改定が実施され、引き続き厳しい市場環境に推移しました。このような状況の中で、当社グループは、高コレステロール血症治療薬「クレストール」や高血圧症治療薬「イルベタン」、また本年4月に発売しました抗うつ薬「サインバルタ」を中心に精力的な取り組みを進めております。

当第1四半期連結会計期間における業績は、売上高752億30百万円、営業利益79億69百万円、経常利益72億11百万円、四半期純利益が48億25百万円となりました。

売上高につきましては、「クレストール」、「イルベタン」が引き続きマーケットシェアを拡大し増加したほか、「サインバルタ」も売上に寄与いたしました。一方、薬価改定などの影響により減少した品目もあり、医療用医薬品全体としては、前年同期比2.1%の増加となりました。また、米国子会社であるシオノギINC.において、卸在庫の圧縮やジェネリック品の影響等により、平成22年4月～6月の売上が減少いたしました。一方、ロイヤリティ収入につきましては前年同期に比べ大きく増加し、全体としての売上高は前年同期比17.5%の増加となりました。

利益面につきましては、シオノギINC.において、品目構成の変化による返品率及び値引率の増加、在庫の評価減等によりマイナスの要因があったものの、ロイヤリティ収入の増加により売上総利益が前年同期比16.1%の増加、また前年同期において発生が大きかった研究開発費が前年同期に比べ19.1%減少したことが影響し、営業利益は31.1%の増加となりました。経常利益も23.6%の増、四半期純利益は特別損失の発生のため4.9%の増加となりました。特別損失に含まれております事業構造改善費用は、米国における各子会社を統合し、米国事業をより一層効率的に運営していくための改善費用であります。

なお、米国連結子会社は本年度より決算日を12月31日から3月31日に変更しております。このため、当第1四半期連結会計期間には6ヶ月分の実績が含まれております。その影響を除いた場合の前年同期比はそれぞれ売上高1.8%増、営業利益41.5%増、経常利益33.8%増、四半期純利益19.2%増となります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 1. 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は5,378億15百万円で、前連結会計年度末と比べて29億45百万円減少しました。流動資産は前連結会計年度末より31億40百万円減少し、2,475億23百万円となっております。また固定資産は、前連結会計年度末より1億94百万円増加し、2,902億91百万円となっております。

負債合計は2,061億52百万円で、前連結会計年度末と比べて73億66百万円増加しました。流動負債は、未払金の増加などにより、前連結会計年度末より29億48百万円増加し、697億78百万円となっております。また固定負債は、長期末払金の増加などにより、前連結会計年度末より44億18百万円増加し、1,363億74百万円となっております。

純資産合計は3,316億63百万円で、前連結会計年度末に比べて103億12百万円減少しました。株主資本は、四半期純利益による増加や配当金の支払による減少などにより、前連結会計年度末より12億3百万円減少し、3,532億40百万円となっております。また、評価・換算差額等は、為替換算調整勘定の減少及びその他有価証券評価差額金の減少により、前連結会計年度末より90億76百万円減少した220億15百万円のマイナスとなりました。

#### 2. キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、109億69百万円の収入で、主な内訳は、税金等調整前四半期純利益50億74百万円、減価償却費57億87百万円、法人税等の支払額137億33百万円などであり、前年同期に比べ21億9百万円の増加でした。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得による支出16億86百万円や、有価証券の取得による支出101億35百万円などにより、118億69百万円の支出となり、前年同期に比べ126億8千1百万円の支出増でした。

また、「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、配当金の支払60億30百万円を中心に、66億13百万円の支出となり、前年同期に比べ210億60百万円の支出増となりました。

これらを合わせた当第1四半期連結会計期間の「現金及び現金同等物の増減額」は86億76百万円の減となり、当第1四半期連結会計期間末の「現金及び現金同等物の期末残高」は、889億86百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 1. 連結業績予想の修正

## (1) 平成23年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	146,000	23,000	22,000	14,500	43.30
今回発表予想 (B)	142,800	19,700	18,700	11,000	32.85
増減額 (B-A)	△3,200	△3,300	△3,300	△3,500	—
増減率 (%)	△2.2	△14.3	△15.0	△24.1	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	132,639	17,838	16,397	11,591	34.61

## (2) 平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想 (A)	295,000	61,000	59,000	39,000	116.45
今回発表予想 (B)	290,000	57,000	55,000	36,000	107.49
増減額 (B-A)	△5,000	△4,000	△4,000	△3,000	—
増減率 (%)	△1.7	△6.6	△6.8	△7.7	—
(ご参考) 前年実績 (平成22年3月期)	278,502	52,438	50,522	38,625	115.33

## 2. 業績予想の修正理由

連結子会社であるシオノギINC.におきまして、第1四半期連結会計期間(決算期変更に伴う平成22年1月～6月までの6ヶ月決算)において、卸在庫の圧縮やジェネリック品の影響等による売上高の減少を受け、第2四半期連結累計期間及び通期の売上高を修正いたします。利益面では、シオノギINC.における品目構成の変化による返品率及び値引率の増加、在庫の評価減などにより、営業利益、経常利益及び当期(四半期)純利益がそれぞれ減少いたします。

なお、当期(四半期)純利益の修正額には、米国子会社の統合に伴う事業構造改善費用が特別損失として含まれております。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当する事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

記載すべき重要な事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち在外連結子会社は10社であります。在外連結子会社のうち1社の決算日は12月31日であり、連結財務諸表の作成にあたっては、12月31日現在の財務諸表を使用しております。連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

なお、当連結会計年度より、シオノギINC.（シオノギUSAホールディングス、INC. は平成22年7月にシオノギINC. に商号変更しております。）他8社は、決算日を連結決算日に変更しました。

この変更により、連結子会社9社については平成22年1月1日から平成23年3月31日までの15ヶ月決算となっております。

この決算期変更に伴い、当第1四半期連結損益計算書は、平成22年1月1日から平成22年6月30日までの6ヶ月間を連結しており、従来と同一の基準に比べて、売上高は10,074百万円増加、営業利益は634百万円減少、経常利益は597百万円減少、税金等調整前四半期純利益は1,054百万円減少、四半期純利益は657百万円減少しています。

#### 2. 表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当する事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	69,310	33,532
受取手形及び売掛金	73,657	79,414
有価証券	33,488	70,677
商品及び製品	27,831	26,931
仕掛品	13,025	14,058
原材料及び貯蔵品	9,601	8,350
その他	20,621	17,710
貸倒引当金	△13	△11
流動資産合計	247,523	250,664
固定資産		
有形固定資産	66,988	62,447
無形固定資産		
のれん	65,311	69,874
その他	52,496	49,190
無形固定資産合計	117,807	119,065
投資その他の資産		
投資有価証券	69,458	71,870
その他	36,158	36,835
貸倒引当金	△121	△121
投資その他の資産合計	105,495	108,584
固定資産合計	290,291	290,097
資産合計	537,815	540,761
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,371	13,400
1年内返済予定の長期借入金	14,000	14,000
未払法人税等	4,453	13,479
賞与引当金	8,943	6,473
その他の引当金	1,424	1,316
その他	25,585	18,159
流動負債合計	69,778	66,829
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	76,500	77,000
退職給付引当金	8,280	8,077
その他	21,593	16,878
固定負債合計	136,374	131,955
負債合計	206,152	198,785

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	20,227	20,227
利益剰余金	331,467	332,669
自己株式	△19,734	△19,733
株主資本合計	353,240	354,443
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,864	10,362
為替換算調整勘定	△30,879	△23,301
評価・換算差額等合計	△22,015	△12,939
少数株主持分	438	471
純資産合計	331,663	341,976
負債純資産合計	537,815	540,761



(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	64,026	75,230
売上原価	17,201	20,855
売上総利益	46,825	54,375
販売費及び一般管理費	40,746	46,406
営業利益	6,078	7,969
営業外収益		
受取利息	45	44
受取配当金	507	561
その他	254	188
営業外収益合計	807	794
営業外費用		
支払利息	446	394
寄付金	175	166
為替差損	—	530
その他	429	460
営業外費用合計	1,050	1,551
経常利益	5,835	7,211
特別利益		
債務免除益	—	279
特別利益合計	—	279
特別損失		
事業構造改善費用	—	2,177
減損損失	—	127
投資有価証券評価損	135	112
特別損失合計	135	2,417
税金等調整前四半期純利益	5,700	5,074
法人税、住民税及び事業税	3,000	1,261
法人税等調整額	△1,909	△991
法人税等合計	1,090	269
少数株主損益調整前四半期純利益	—	4,804
少数株主利益又は少数株主損失(△)	7	△21
四半期純利益	4,601	4,825

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,700	5,074
減価償却費	4,210	5,787
減損損失	—	127
のれん償却額	933	1,845
受取利息及び受取配当金	△553	△605
支払利息	446	394
為替差損益(△は益)	△26	473
売上債権の増減額(△は増加)	1,383	5,433
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,327	△1,214
仕入債務の増減額(△は減少)	128	2,086
その他	6,985	4,970
小計	16,879	24,372
利息及び配当金の受取額	399	593
利息の支払額	△115	△263
法人税等の支払額	△8,303	△13,733
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,859	10,969
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△918	△947
定期預金の払戻による収入	918	946
有価証券の取得による支出	—	△10,135
有価証券の売却による収入	—	2,696
有形固定資産の取得による支出	△2,823	△1,686
有形固定資産の売却による収入	1	11
投資有価証券の償還による収入	5,000	—
貸付金の回収による収入	2	—
その他	△1,368	△2,754
投資活動によるキャッシュ・フロー	811	△11,869
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,000	—
長期借入金の返済による支出	△500	△500
社債の発行による収入	30,000	—
配当金の支払額	△4,690	△6,030
少数株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△359	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,447	△6,613
現金及び現金同等物に係る換算差額	537	△1,163
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	24,656	△8,676
現金及び現金同等物の期首残高	51,536	97,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	76,192	88,986

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当する事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める医薬品及びその関連する事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	54,082	9,540	403	64,026	—	64,026
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	14	797	27	839	(839)	—
計	54,096	10,338	430	64,865	(839)	64,026
営業利益	6,168	733	110	7,012	(933)	6,078

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	10,904	10,337	927	22,168
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	64,026
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	17.0	16.2	1.4	34.6

[セグメント情報]

当社グループは、医療用医薬品の研究開発、仕入、製造、販売ならびにこれらの付随業務を事業内容とする単一事業であります。製品別の販売状況、会社別の利益などの分析は行っておりますが、事業戦略の意思決定、研究開発費を中心とした経営資源の配分は当社グループ全体で行っており、従って、セグメント情報の開示は省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当する事項はありません。

平成23年3月期 第1四半期業績 補足資料

平成22年8月2日  
塩野義製薬株式会社

① 主要製品売上高

(単位:億円)

	22年上期 当初予測	22年度 当初予測	22年4-6月 実績	21年4-6月 実績	22年上期 修正予測	22年度 修正予測	22年上期 修正額	22年度 修正額
国内医療用医薬品	739 (△1.1)	1,536 (0.7)	380 (2.1)	372 (△2.2)	749 (0.3)	1,552 (1.7)	10	16
クレストール	145	300	66	55	145	300	-	-
イルベタン	38	83	16	4	38	83	-	-
サインバルタ	5	10	4	-	8	18	3	8
戦略3品目合計	188	393	85	58	191	401	3	8
オキシコンチン	47	95	25	22	47	95	-	-
フィニバックス	21	43	9	8	21	43	-	-
ディフェリン	19	39	6	5	19	39	-	-
ピレスパ	14	34	7	3	14	34	-	-
ラピアクタ	5	40	0	-	0	30	△5	△10
戦略8品目合計	294	644	132	96	292	642	△2	△2
フロモックス	90	190	53	58	90	190	-	-
リンデロン等外用	48	89	25	26	48	89	-	-
フルマリン	36	66	18	22	36	66	-	-
クラリチン	34	81	16	18	34	81	-	-
塩酸バンコマイシン	22	39	12	17	22	39	-	-
イムネース	20	37	8	13	20	37	-	-
アベロックス	3	3	2	3	2	2	△1	△1
輸出/海外子会社	340 (42.4)	616 (25.5)	171 (42.6)	119 (521.0)	269 (12.6)	521 (6.2)	△71	△95
シオノギInc. ドリペナム	※1 297 18	※2 513 54	※3 152 5	95 12	※1 226 18	※2 418 54	△71 -	△95 -
製造受託	9 (△73.8)	25 (△66.3)	10 (△35.7)	14 (22.8)	15 (△56.3)	31 (△58.3)	6	6
一般用医薬品	29 (△1.9)	55 (1.1)	14 (△3.9)	14 (△0.8)	29 (△1.9)	55 (1.1)	-	-
セデス類	12	24	6	6	12	24	-	-
ポポンS類	6	11	3	2	6	11	-	-
診断薬	13 (△16.8)	28 (△4.9)	7 (△9.7)	8 (△10.7)	13 (△16.8)	28 (△4.9)	-	-
ロイヤリティー収入	320 (33.3)	660 (15.8)	164 (56.6)	105 (39.4)	343 (42.9)	683 (19.8)	23	23
クレストール	305	635	154	100	325	655	20	20
その他	10 (△52.3)	30 (△26.2)	6 (2.8)	5 (△9.1)	10 (△52.3)	30 (△26.2)	-	-
合計	1,460 (10.1)	2,950 (5.9)	752 (17.5)	640 (23.8)	1,428 (7.7)	2,900 (4.1)	△32	△50

( )内 対前年UP%

製品別売上高は単体実績  
米国子会社 決算期の変更により

※1 22年1月～22年9月の9ヶ月分を計上  
※2 22年1月～23年3月の15ヶ月分を計上  
※3 22年1月～22年6月の6ヶ月分を計上

## ②-1 四半期別業績推移(四半期別主要製品売上高)

(単位:億円)

平成22年3月期	21年4-6月 実績	対前年 UP率	21年7-9月 実績	対前年 UP率	21年10-12月 実績	対前年 UP率	22年1-3月 実績	対前年 UP率
医薬品及びその関連する事業	634	24.2	671	27.5	728	23.9	711	17.3
医療用医薬品	372	△ 2.2	375	3.5	424	0.3	354	△ 3.4
クレストール	55	44.1	60	33.2	69	43.6	58	26.3
フロモックス	58	△ 4.6	55	△ 9.1	79	△ 10.2	48	△ 24.6
リンデロン等外用	26	△ 1.2	25	0.2	23	△ 5.3	21	1.9
クラリチン	18	1.1	16	8.0	20	2.2	36	△ 18.3
フルマリン	22	△ 12.9	25	△ 14.7	23	△ 16.6	17	△ 10.2
オキシコンチン	22	6.5	20	6.0	25	6.5	18	30.4
塩酸バンコマイシン	17	△ 26.3	17	△ 24.2	15	△ 18.1	12	△ 28.8
イムネース	13	△ 34.3	13	△ 21.3	11	△ 8.9	9	△ 29.1
イルベタ	4	△ 53.5	8	359.7	12	-	14	919.3
フィニバックス	8	35.0	10	26.2	8	△ 6.5	8	14.4
ディフェリン	5	-	5	-	6	△ 6.0	6	5.1
ピレスパ	3	-	3	-	4	-	5	280.8
アベロックス	3	△ 26.7	2	△ 10.4	3	△ 42.8	2	△ 37.0
ラピアクタ	-	-	-	-	-	-	6	-
輸出・海外事業	119	521.0	120	447.6	127	346.7	125	7.1
シオノギファーマ	95	-	88	-	99	-	104	12.2
ドリベネム	12	157.5	17	189.2	13	△ 18.8	10	16.7
製造受託	14	22.8	20	6.9	19	20.5	21	79.6
一般用医薬品	14	△ 0.8	16	8.8	14	△ 3.2	10	10.1
セデス類	6	5.7	8	12.0	6	△ 0.1	4	8.0
ポボンス類	2	△ 6.4	4	30.4	3	△ 4.0	2	1.4
診断薬	8	△ 10.7	8	△ 4.7	6	△ 23.3	7	△ 5.7
ロイヤリティ収入	105	39.4	135	31.8	138	40.8	192	106.6
クレストール	100	38.2	125	34.4	132	41.5	143	69.4
その他の事業	5	△ 9.1	16	114.2	10	△ 5.0	10	△ 53.4
合計	640	23.8	686	28.6	738	23.4	721	15.0

平成23年3月期	22年4-6月 実績	対前年 UP率
国内医療用医薬品	380	2.1
クレストール	66	19.9
イルベタ	16	347.9
サイバルタ	4	-
戦略3品目合計	85	46.6
オキシコンチン	25	13.7
フィニバックス	9	5.2
ディフェリン	6	32.2
ピレスパ	7	150.1
ラピアクタ	0	-
戦略8品目合計	132	37.6
フロモックス	53	△ 8.6
リンデロン等外用	25	△ 1.1
フルマリン	18	△ 16.5
クラリチン	16	△ 8.0
塩酸バンコマイシン	12	△ 29.4
イムネース	8	△ 40.8
アベロックス	2	△ 23.1
輸出/海外子会社	171	42.6
シオノギ Inc.	152	58.8
ドリベネム	5	△ 57.3
製造受託	10	△ 35.7
一般用医薬品	14	△ 3.9
セデス類	6	△ 10.5
ポボンス類	3	14.0
診断薬	7	△ 9.7
ロイヤリティ収入	164	56.6
クレストール	154	53.6
その他	6	2.8
合計	752	17.5

製品別売上高は単体実績

決算期の変更により、米国子会社について、22年4-6月は22年1月～22年6月の6ヶ月分を計上

## ②-2 四半期別業績推移(四半期別連結損益計算書)

(単位:億円)

平成22年3月期	21年4-6月 実績	対前年 UP率	21年7-9月 実績	対前年 UP率	21年10-12月 実績	対前年 UP率	22年1-3月 実績	対前年 UP率
<b>売上高</b>	<b>640</b>	<b>23.8</b>	<b>686</b>	<b>28.6</b>	<b>738</b>	<b>23.4</b>	<b>720</b>	<b>15.0</b>
売上原価	26.9 172	4.1	28.7 196	19.5	27.5 202	5.7	26.6 191	1.9
売上総利益	468	33.1	489	32.7	535	31.8	529	20.6
販売費・一般管理費	63.6 407	50.3	54.2 372	40.3	49.3 363	0.6	49.3 355	2.0
販売費・管理費	246	48.4	254	56.5	238	39.4	241	10.6
研究開発費	161	53.4	118	14.8	125	△ 34.2	113	△ 12.5
<b>営業利益</b>	9.5 <b>60</b>	<b>△ 24.8</b>	17.1 <b>118</b>	<b>13.3</b>	23.3 <b>171</b>	<b>282.4</b>	24.2 <b>174</b>	<b>92.3</b>
営業外収支	△ 2		△ 12		△ 1		△ 2	
<b>経常利益</b>	9.1 <b>58</b>	<b>△ 30.3</b>	15.4 <b>105</b>	<b>△ 0.3</b>	23.0 <b>169</b>	<b>282.8</b>	23.8 <b>171</b>	<b>99.3</b>
特別損益	△ 1		1		48		31	
税金等調整前四半期純利益	57		106		218		203	
税金費用他	10		△ 37		△ 79		△ 72	
<b>四半期純利益</b>	7.2 <b>46</b>	<b>△ 14.6</b>	10.2 <b>69</b>	<b>8.4</b>	18.9 <b>139</b>	<b>-</b>	18.2 <b>130</b>	<b>172.2</b>

平成23年3月期	22年4-6月 実績	対前年 UP率
<b>売上高</b>	<b>752</b>	<b>17.5</b>
売上原価	27.7 208	21.2
売上総利益	543	16.1
販売費・一般管理費	61.7 464	13.9
販売費・管理費	333	35.4
研究開発費	130	△ 19.1
<b>営業利益</b>	10.6 <b>79</b>	<b>31.1</b>
営業外収支	△ 7	
<b>経常利益</b>	9.6 <b>72</b>	<b>23.6</b>
特別損益	△ 21	
税金等調整前四半期純利益	50	
税金費用他	2	
<b>四半期純利益</b>	6.4 <b>48</b>	<b>4.9</b>

決算期の変更により、米国子会社について、22年4-6月は22年1月～22年6月の6ヶ月分を計上

### ③ 米国子会社 決算期変更による影響

第1四半期会計期間  
連結損益計算書概要

(単位:億円)

平成23年3月期	22年1Q 実績 ※1	米国子会社 22年1-3月		22年1Q 実績 ※2	21年1Q 実績	対前年 UP率
		実績	のれん及び 無形資産 償却額			
売上高	752	100	-	651	640	1.8
営業利益	79	10	△ 17	86	60	41.5
経常利益	72	11	△ 17	78	58	33.8
四半期純利益	48	7	△ 14	54	46	19.2

※1 米国子会社 22年1月～22年6月の実績を含む連結業績  
※2 米国子会社 22年1月～22年3月の実績を除いた連結業績

#### ④ 開発品（2010年8月現在）

<MS/感染症/疼痛>

領域	開発No. (一般名)【製品名】	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
MS	Pravastatin/Fenofibrate (プラバスタチン/ フェノフィブラート)	HMG-CoA還元酵素阻害 薬/脂質異常改善薬 (経口配合剤)	脂質異常症および高トリ グリセライド血症	米国:申請中 (2009年11月)	Galephar PR社(ブエル リコ)/SMB社(ベル ギー)	シオノギ/SMB社
	Jenloga XR (クロニジン塩酸塩)	選択的 $\alpha$ 2受容体アゴニ スト (経口)	高血圧症	米国:フェーズⅢ	自社	自社
	S-474474 (イルベサルタン/トリクロ ルメチアジド)	アンジオテンシン受容体 拮抗薬/チアジド系利尿 薬 (経口配合剤)	高血圧症	日本:フェーズⅢ	イルベサルタン:Sanofi- aventis社(仏国) トリクロルメチアジド:自 社	自社
	S-2367 (Velnepirit)	ニューロペプチドY Y5 受容体アンタゴニスト (経口)	肥満症	米国:フェーズⅡ 日本:フェーズⅡ	自社	自社
	ADX415	選択的 $\alpha$ 2受容体アゴニ スト (経口)	高血圧症	米国:フェーズⅡ準備中	自社	自社
	S-234462	ニューロペプチドY Y5 受容体アンタゴニスト (経口)	肥満症	米国:フェーズⅠ	自社	自社
	S-707106	インスリン抵抗性改善薬 (経口)	2型糖尿病	米国:フェーズⅠ	自社	自社
感染症	S-021812 (ペラミビル) 【ラピアクタ®】	ノイラミニダーゼ阻害薬 (注射)	インフルエンザ感染症 (小児)	日本:申請中 (2010年2月)	BioCryst社(米国)	自社
	S-4661 (ドリペネム水和物) 【フィニバックス®】	カルバペネム系抗生物 質 (注射)	用法・用量追加(1g×3 回/日:重症感染症)	日本:申請中 (2010年3月)	自社	自社
	S-4661 (ドリペネム水和物) 【フィニバックス®】	カルバペネム系抗生物 質 (注射)	各種細菌感染症(小児)	日本:フェーズⅢ	自社	自社
	S-349572/S-265744/S- 247303	インテグラーゼ阻害薬 (経口)	HIV感染症	欧米:フェーズⅡb (最大進展フェーズ)	Shionogi-GSK社	Shionogi-ViiV社
疼痛	LY248686 (デュロキセチン塩酸塩) 【サインバルタ®】	SNRI(セロトニン・ノルア ドレナリン再取り込み阻 害薬) (経口)	糖尿病性神経因性疼痛	日本:申請中 (2009年9月)	Eli Lilly社(米国)	シオノギ/日本イーライリ リー社
	S-811717 (オキシコドン塩酸塩)	アヘンアルカロイド系麻 薬 (注射)	中等度から高度の疼痛 を伴う各種癌における鎮 痛	日本:申請準備中	NAPP社(英国)	自社
	S-297995	末梢性オピオイド受容体 アンタゴニスト (経口)	オピオイド投与に伴う消 化器症状	米国:フェーズⅡa 日本:フェーズⅠ	自社	自社



<その他>

領域	開発No. (一般名)【製品名】	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
婦人科	PSD502 (リドカイン/プリロカイン)	局所麻酔薬共融混合物 (定量噴霧スプレー)	早漏	欧米:フェーズⅢ	Plethora社(英国)	シオノギ/Plethora社
	Ospemifene (オスペミフェン)	選択的エストロゲン受容 体モジュレーター (経口)	閉経後陰萎縮症	米国:フェーズⅢ	QuatRx社(米国)	シオノギ/QuatRx社
小児	Glycopyrrolate (グリコピロレート) 【CUVPOSATM】	抗コリン薬 (経口)	小児における中等度から 重度の流涎症(よだれ)	米国:承認 (2010年7月)	自社	自社
	Clonidine HCL (クロニジン塩酸塩)	選択的 $\alpha$ 2受容体アゴニ スト (経口)	注意欠陥多動性障害(小 児)	米国:申請中 (2009年10月)	自社	自社
その他	S-555739	プロスタグランジンD2拮 抗薬 (経口)	アレルギー性鼻炎	日本:フェーズⅡa 欧州:POM(Proof of Mechanism)	自社	自社
	S-888711	低分子TPOミメティクス (経口)	血小板減少症	欧米:フェーズⅡ 日本:フェーズⅠ	自社	自社
	S-444823	CB受容体アゴニスト (外用)	アトピー性皮膚炎	日本:フェーズⅡa	自社	自社
	S-288310	ペプチドがんワクチン (注射)	膀胱がん	日本:フェーズⅠ/Ⅱ	オンコセラピー・サイエン ス社(日本)	自社
	S-222611	Her2/EGFRデュアル阻 害薬 (経口)	悪性腫瘍	欧州:フェーズⅠb	自社	自社
	S-488410	ペプチドがんワクチン (注射)	食道がん	日本:フェーズⅠ/Ⅱ準備 中	オンコセラピー・サイエン ス社	自社

<導出品>

開発No. (一般名)【製品名】	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
S-4661 (ドリベネム水和物)	カルバペネム系抗生物質 (注射)	細菌感染症	米国: 承認(2007年10月) 腹腔内感染症 尿路感染症 申請中(2007年6月) 院内肺炎 欧州:承認(2008年7月)	自社	Johnson & Johnson社(米国)
S-3013 (パレスプラジブ メチル)	分泌型PLA2(sPLA2)阻 害薬 (経口)	急性冠症候群 高脂血症	欧米:フェーズⅢ	シオノギ/Eli Lilly社	Anthera社(米国)
S-0373	非ペプチド型TRHミメティック (経口)	脊髄小脳変性症	日本:フェーズⅡ	自社	キッセイ薬品

2010年5月からの変更点

ステージの変更	Glycopyrrolate <米国>: 申請中 → 承認
	S-811717<日本>: フェーズⅢ → 申請準備中
	S-3013<導出品>: フェーズⅡb → フェーズⅢ
開発品の追加	S-488410<日本>: フェーズⅠ/Ⅱ準備中
開発品の削除	Prenate DHA<米国>: 2009年4月より発売開始のため
	Ulesfia<米国>: 2009年7月より発売開始のため
	Adrenaclick<米国>: 2010年1月より発売開始のため
	Prenate Essential<米国>: 2010年4月より発売開始のため
	LY248686<日本>: 2010年4月より発売開始のため